

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名 去勢抵抗性前立腺癌における血清 free testosterone 値の有用性に関する検討
研究計画 (1)背景・意義 前立腺癌に対する薬物学的去勢(ADT)の薬効評価には total testosterone(TT)が全ての診療ガイドラインで使用されているが、bioavailable なのは free testosterone(FT)である。FT は TT よりも前立腺組織内 dihydrotestosterone(DHT)濃度と相関すると言われている。去勢抵抗性前立腺癌(CRPC)に対して新規抗アンドロゲン剤(ARAI)を使用するかタキサン系化学療法剤を使用するかの適切な基準はない。本研究では CRPC における血清 FT、TT の ARAI の効果予測に有効であるかを比較検討した。 (2)目的 ARAIを使用した CRPC 患者を対象とし、血清 FT,TT 値が生化学的非進行期間(bPFS)にどのように影響するかを明らかにする。 (3)方法 ARAIを使用した CRPC 患者を後方視的に抽出し、ARAI 開始時の血清 FT、TT、ARAI の種類(ENZ or AAP),ドセタキセル使用有無、CRPC に至るまでの期間(TTCRPC),PSA, GG, TNM を層別化し、bPFS、CSS の Kaplan-Meier 曲線を単変量解析、Cox 比例ハザードモデルによる多変量解析をおこない、FT が有意な予後予測因子となるか解析する。
個人情報の取り扱い 本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。
連絡先 松島 常 東京警察病院泌尿器科(内線 3017)、E-mail: hmatsu53@me.com